

5月定例教育委員会 会議録

日 時	令和3年5月12日（水） 午前9時30分～午前9時50分
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	數野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員
出席事務局職員	饗場教育部長・土屋教育総室長・望月生涯学習室長・樋口総務課長・寺田学校教育課長・宮川総務課課長補佐・橘田総務課課長補佐・吉田総務課主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 原委員

・4月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

數野

末木

市川

岡田

原

1 開会

數野教育長

これより5月定例教育委員会を開会します。

(1) 教育委員あいさつ

原委員

おはようございます。令和3年度がスタートして初の教育委員あいさつをさせていただきます。新しく教育委員会に着任された方々をはじめ皆様、今年度もどうぞよろしくお願いたします。

さて、やっと新型コロナワクチンの高齢者優先接種が全国的に始まりました。医療従事者は予定より遅れ、私もやっと5月8日に1回目のワクチン接種を受けることができました。甲府市は、相生地区の一部の高齢者の方から接種が開始されましたが、皆様の周辺では体験者はまだ少ないかと思っておりますので本日は、このワクチン接種について体験を含め、お話させていただきたいと思っております。

市内の一般診療所の医療従事者には、事前に「接種記録書」と「予診票」が届けられ、それを持参して診療所全員で甲府市救急医療センターに行き、各医院の院長から順に接種を受けました。1本のアンプルで6名分ですので6の倍数になる様に他の医院と組み合わせて日程が組まれていました。「接種記録書」は、接種後ファイザー製のロットNo.のシールが貼られ、2回目に持参します。「予診票」は、個人名明記の接種券付で14問の質問事項と同意書が印刷されたものでした。私共の医院では6名が接種を受けましたが、全員注射時の痛みは訴えませんでした。「インフルエンザの接種より痛くない」が全員の感想でした。アナフィラキシーショック等の確認の為に、15分ほど様子をみて帰宅しました。

翌日、注射部位の痛みと筋肉痛をほぼ全員が感じましたが、日常生活には支障のない程度でした。発熱に関しては、40代女性看護師1名に38度の発熱がありましたが、翌日にはほぼ回復しました。2回目は、3週間後の月末に予定されています。既に2回目の接種を終えた方の話では、2回目に副反応が出た方が多く、あくまでも私が耳にした範疇ですが、ご年配の方より若い方に副反応が多く聞かれました。副反応としては、発熱が37.5度～38.5度位、倦怠感・肩の痛み・頭痛がほとんどです。1、2日ですっきり軽減したとのこと。また、痛みや熱・不快感に対しては、消炎鎮痛解熱剤等の服用で和らぎますが、副反応を防ぐために事前服用は勧められません。服用には、主治医にご相談ください。また、当日は、ぜひ半袖または肩をすぐに出せる服装をお勧めします。念のため、翌日は大事な予定を入れない方がよいと思います。

皆様にも1日も早く接種が受けられる様になることを願っております。集団免疫を得るためには、最低でも国民の6割以上の接種が必要と言われています。しかし、今日現在で、医療従事者も含め1回目の接種でも国民の約473万人に過ぎません。行政による大規模接種と共に開業医もかかりつけ医として個別接種や接種会場への協力をして、速やかな集団免疫獲得が望まれます。

今はワクチン不足の中で高齢者の方も含め接種に大変積極的な雰囲気ですが、これから問題になるのは、事情により接種できない方は別として、接種に否定的な人と感染を軽視している若者への接種をどう促すのか。いずれ18歳以下への接種も検討された場合、学校での集団接種も可能性があるかもしれません。また、ワクチンパスポートが発行された場合、接種の有無による公共施設への入場の制限など、教育現場だけでなく教育委員会の関連する施設も様々な対応が必要となってくるかもしれません。

感染力が強く若年層への感染と重症化が懸念される変異ウイルスに対して、今後、学校での集団感染も想定した上で学校に対して従来のインフルエンザ等の感染症と同じ基準で良いのか。今のうちから対応について検討が必要ではないでしょうか。インド国内の映像で中学生位の子どもが呼吸困難で苦しんでいる様子に胸が詰まる思いでした。

個人的には、これ以上の変異ウイルス感染予防に向けて、海外からの入国に最善の警戒と水際対策を、そして何よりも治療薬の開発を待ち望んでおります。

最後になりましたが、コロナ禍に様々な対策にご尽力くださっている教育委員会、学校関係者の皆様に心より感謝を申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。

(2) 会議録署名委員の指名

数野教育長

会議録の署名委員は、原委員にお願いします。

(3) 前回会議録の承認

数野教育長

前回の議事録について、何かご意見ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

數野教育長

第7号 令和3年度副読本・ワークブックについて

資料に基づきまして、寺田学校教育課長から説明をお願いします。

(寺田学校教育課長から資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

市川職務代理

毎年毎年、保護者負担ということで、昨年度は消費税の増税ということがありましたけれども、今年度は小学校も中学校もマイナスに転じたということで、それなりの成果があったのではないかと思います。今年の場合は、コロナの影響で少し大変だということがある中で、学校間において金額が相違する点について、どのようにお考えですか。

寺田学校教育課長

まず、コロナということで、副読本とか補助教材に限りませんが、例えば、いろいろな学納金とかあるわけですが、これは当然使うものですから納めていただくのが原則ですが、いろいろな事情の中で厳しいご家庭もあるかと思えます。そのような場合の督促にあたっては、配慮ある言葉かけをお願いしたいと思っております。

その一方では、購入したものについては、やはり使い切るということが大事だと思いますので、その辺の指導を徹底していただき、これはコロナに限りませんが、小学校、中学校の新学習指導要領で、内容や教科書が一新されたことによりまして、若干、今まで使っていないようなワーク等を使っている状況があります。これは、数年の経過の中である程度、有効かどうかはわかってくると思いますので、また落ち着いてくるのではないかと推測しております。いずれにしましても、保護者負担の軽減が第一で、コロナという状況がありますので、その辺の範囲については、今後、購入したものについても、学校を通して、きちんと使い切る指導をしていきたいと考えております。

末木委員

今、説明をいただいて、例えば、中学校では学校ごとにおいて、補助教材にかなり差がありますが、それぞれ学校の事情とか現場の裁量を認めているのだとは思いますが、私は、配布していただいた資料で全体を見て比較ができますが、保護者の方々は、他の学校との比較ができずに、言われて支払っているだけだと思います。学校の教育目標に向け、計画的にやっているとは思いますが、補助教材の結果や評価などの説明はされていますか。

寺田学校教育課長

多くの学校では、PTAの学年単位になると思いますがその時に、主要な補助教材については、

これについてこういう目的で使わせていただいていますとか使う予定であるとのこともアナウンスはしている状況であります。

このほか、保護者向けではありませんけれども、校長会等で例年、年度末を迎えて翌年度のことを考える時期に、各学校でどれぐらいの差が生じているのか。多い学校と少ない学校等の金額については、学校名を特定できない形で、概ねの額を説明しております。また、同じ教科書を使っているけれども、こういう差がある状況が生じていることを学校に説明させていただいている状況であります。

數野教育長

他にはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

では確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

數野教育長

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

數野教育長

それではこれもちまして、5月定例教育委員会を閉会します。